

# 令和 8 年 第 5 回定例教育委員会会議録

1. 開 催 日 時            令和 8 年 5 月 2 7 日 (水)  
午後 3 時～午後 3 時 4 0 分

2. 開 催 場 所            柏原市教育委員会 会議室

|           |         |       |
|-----------|---------|-------|
| 3. 出席した委員 | 教育長     | 新子 寿一 |
|           | 教育長職務代理 | 田中 保和 |
|           | 教育委員    | 太田 貴之 |
|           | 教育委員    | 田辺 恵美 |
|           | 教育委員    | 黒川 裕美 |

|           |              |       |
|-----------|--------------|-------|
| 4. 出席した職員 | 教育部長         | 桐藤 英樹 |
|           | 教育監          | 石田 智  |
|           | 教育部次長兼教育総務課長 | 田中 秀樹 |
|           | 指導課長         | 小室 吉昭 |
|           | 社会教育課長       | 南 伸樹  |
|           | 図書館長         | 裏山 恵一 |
|           | 事務局教育総務課     | 塩谷 行由 |

## 5. 議 事 案 件

議案第 1 6 号 柏原市図書館協議会委員の委嘱について

議案第 1 7 号 柏原市社会教育委員の委嘱について

議案第 1 8 号 令和 7 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の公表内容について

## 6. 報 告 事 項

## 7. 会議録の承認及び会議の要旨

新子教育長：それでは、令和8年第5回定例教育委員会会議を開会します。本日の会議録署名委員は、黒川委員にお願いいたします。前回の会議録について、出席職員に一部誤りがありましたので、その点を修正させていただきます。その他、ご意見等ございませんか。

委員全員：なし。

新子教育長：それでは、会議録は一部修正のうえ承認することにいたします。本日の議事に入ってまいります。本日の議事案件は3件です。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、議案第16号につきまして、図書館裏山館長より説明をお願いします。

裏山館長：議案第16号柏原市図書館協議会委員の委嘱について、図書館よりご説明申し上げます。資料の委嘱予定者名簿をご覧ください。令和7年4月1日付で委嘱した委員のうち、推薦団体において異動がございましたので、柏原市図書館協議会条例第2条及び第3条の規定により、委員を委嘱するものでございます。なお、委員の任期については、前任者の残任期間となりますため、令和8年4月1日から令和9年3月31日までとなります。ご審議いただきますようお願いいたします。

新子教育長：ただいま説明がありました。新任として2名、退任として3名でございます。

ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

委員全員：なし。

新子教育長：ないようでございますので、議案第16号について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：それでは議案第16号柏原市図書館協議会委員の委嘱については、原案どおり承認することにいたします。次に、議案第17号につきまして、社会教育課南課長より説明をお願いします。

南課長：議案第17号柏原市社会教育委員の委嘱について、社会教育課よりご説明申し上げます。柏原市社会教育委員を社会教育法第15条第2項の規定により、名簿のとおり委嘱するものです。委嘱年月日は令和8年4月1日、委嘱期間は令和8年4月1日から令和10年3月31日までの2年間となっております。ご審議いただきますようお願いいたします。

新子教育長：ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

委員全員：なし。

新子教育長：ないようでございますので、議案第17号について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：それでは議案第17号柏原市社会教育委員の委嘱については、原案どおり承認することにいたします。次に、議案第18号につきまして、指導課小室課長より説明をお願いします。

小室課長：議案第18号令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の公表内

容について、指導課よりご説明申し上げます。委員の皆様には事前にカラー刷りの概要版を送付させていただきましたが、今回提示しておりますものは完成版でございます。白黒資料となりますので、説明で補足させていただきます。別添の冊子をご覧ください。

はじめに、1ページをご覧ください。こちらは調査の概要でございます。本調査は、小学校第5学年及び中学校第2学年を対象に、体力テスト8種目と、生活・運動習慣に関するアンケート調査を実施したものです。

続きまして、2ページをご覧ください。こちらは全国との比較でございます。小学校女子及び中学校男女では複数項目で全国平均を上回っております。一方で、小学校においては、反復横とび、20メートルシャトルラン、50メートル走に課題が見られ、敏捷性、持久力、スピードの向上が必要な状況となっております。

続きまして、3ページをご覧ください。昨年度との比較でございます。小中学校ともに多くの項目で昨年度を上回っており、体力は改善傾向にあります。

次に、4ページをご覧ください。3年前との比較でございます。多くの項目で向上が見られる一方、長座体前屈及びボール投げについては低下が見られ、柔軟性及び投能力の課題が残っております。

続いて、5ページをご覧ください。体力合計点の経年推移です。本市は全体として改善傾向にあり、特に中学校男子では全国平均を上回る水準となっております。

ここからアンケート調査についてご説明いたします。6ページは体力テストの用語説明でございますので、詳細説明は割愛いたします。7ページは小学校の体格の状況です。大きな特徴は見られませんが、体格については全国と大きな差はない状況です。

続いて、8ページをご覧ください。小学校の1週間の総運動時間の分布でございます。運動時間がほとんどない層が一定数存在している一方で、長時間運動している層も存在しており、運動量に差がある、いわゆる二極化の傾向が見られます。この傾向は、体力差の要因の一つと考えられます。

次に、9ページ、10ページをご覧ください。小学校の実技結果です。長座体前屈は高い数値である一方、シャトルランや50メートル走などでやや低い傾向が見られ、先ほど申し上げた課題と一致しております。

続いて、11ページから21ページをご覧ください。小学校の児童質問調査についてです。小学校では、運動やスポーツに対する意識の高さが大きな特徴です。運動を好きと答える児童や、関心を持つ児童が多い傾向が見られます。また、体育の授業に関する質問からは、体を動かしてすっきりしたとき、できなかったことができたとき、友達と協力できたときに「楽しい」と感じる児童が多いことが読み取れます。このことから、達成感と友達との関わりが、体育の楽しさを支えているという特徴があります。

一方で、運動時間や運動していない理由に関する設問では、運動時間にばらつきがあり、特に女子では運動量が少ない層が存在しています。また、運動しない理由としては、時間がない、他にやりたいことがあるといった回答が多く、生活の中で運動の優先順位が低くなっている児童もいることが分かります。加えて、朝食は比較的しっかりとっている一方で、画面視聴時間などの影響が見られる可能性もあり、生活全体との関連が課

題となっています。

続きまして、22ページは用語説明のため省略いたします。23ページをご覧ください。中学校の体格の状況です。こちらも全国と大きな差はなく、体格面での顕著な課題は見られません。

続いて、24ページをご覧ください。中学校の1週間の総運動時間です。小学校と同様に、運動をほとんど行っていない層と、十分に運動している層が混在しており、運動時間の二極化がより顕著に見られます。特に中学校では、部活動への参加の有無が大きく影響していると考えられます。

次に、25、26ページをご覧ください。中学校の実技結果です。男子は全体的に高い水準にありますが、ハンドボール投げに課題があります。女子では、シャトルラン、50メートル走、ハンドボール投げに課題が見られます。

最後に、27ページから36ページをご覧ください。中学校の生徒質問調査についてです。中学校では、運動やスポーツに対する関心が小学校と比べてやや低下する傾向が見られます。特に女子において、関心の低下や苦手意識の存在が見られます。一方で、部活動や運動時間の設問からは、運動量そのものは大きく増加していることが分かります。つまり、中学校では「関心はやや低下するが、運動量は増える」という特徴的な変化が見られます。

保健体育の授業については、体を動かしたとき、できるようになったとき、友達と協力したときに楽しさを感じる傾向は小学校と共通しています。しかし、全体としては、小学校に比べて「楽しい」と感じる割合がやや下がる傾向があり、授業満足度の低下が見られます。また、生活習慣に関する設問からは、睡眠時間の減少、画面視聴時間の増加といった変化が読み取れ、生活習慣の乱れが運動や体力に影響する可能性が示されています。

さらに、運動しない理由については、時間がない、他にやりたいことがあるに加え、女子を中心に、運動が苦手といった回答が見られ、心理的なハードルも課題となっています。

以上をまとめますと、本市では一定の体力水準は維持しているものの、敏捷性、持久力、スピード、投能力に課題があること、運動時間の二極化が見られることが明らかとなりました。今後は、小学校で育まれた「運動の楽しさ」や自己肯定感を中学校でも継続できるようにすること、さらに、特に女子を中心に、運動に対する苦手意識を軽減し、誰もが関われる環境を整えることが重要であると考えられます。加えて、生活習慣の改善、運動機会の多様化、授業での成功体験の充実などを総合的に進めていくことが、継続的な体力向上につながると考えられます。以上で説明を終わります。

新子教育長：ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。

太田委員：公表資料については非常に詳細であるため、市民が見やすいように、学力調査で作成しているようなA4一枚程度の概要版があれば分かりやすいと思います。

小室課長：公表に向けましては、体力合計点の経年推移等を掲載している5ページをベースに、概要版として分かりやすく整理することを検討いたします。

太田委員：1週間の総運動時間について、運動時間が0分となっている児童生徒がいますが、これは体育の授業を含まない時間という理解でしょうか。

小室課長：体育の授業を含めると0分にはならないため、授業以外の運動時間を問うているものと考えられますが、設問の扱いについて確認いたします。

太田委員：保健体育の授業については、楽しいと感じている児童生徒が多いということで、授業自体への評価は比較的高いと捉えてよいでしょうか。

小室課長：体育の授業は楽しい、運動が好きといった肯定的な傾向が見られます。体育教員が、体を動かすことを喜びに感じる授業を実践していることも影響しているものと考えております。

新子教育長：ほかにご質問、ご意見等ございませんか。公表に向けては、概要版を作成する方向で進めていただきたいと思います。他にご意見はないようでございますので、議案第18号について、原案どおり承認してよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし。

新子教育長：それでは議案第18号令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の公表内容については、原案どおり承認することにいたします。本日の議事案件は以上です。第5回定例教育委員会会議を閉会いたします。

本教育委員会会議の議事の経過に相違ないことを証するためにここに署名する。

令和     年     月     日

柏原市教育委員